

平成 23 年 (2011 年) 応用生態工学会第 3 回全国フィールドシンポジウム in 広島

デルタ域の自然再生における流域的課題～太田川 - 広島湾流域圏～

応用生態工学会では、現場のニーズに応じた研究テーマの発掘を目的として、全国フィールドシンポジウムを開催しています。今回は、流域圏のうち「デルタ域、汽水域」における自然再生の取り組みに焦点をあてて広島で開催します。

太田川デルタ域では、都市域における自然再生事業が数多く取り組まれており、応用生態工学の観点からは陸域と海域の接点である汽水域生態系の自然再生のあり方を考えることができます。類似のデルタ域は全国の至る所にあるため、他地域で自然再生を行う上でたいへん参考になると考えられます。また、汽水域は現象的に複雑であるため、分野融合的な本学会の関係者が集まり情報交換を進めることで、理解の進展が見込まれると期待されます。

この機会にできるだけ幅広い分野の皆様が多数ご参加いただけるよう心よりお待ちしております。

開催年月日：平成 23 年 5 月 19 日 (木)～5 月 20 日 (金)

プログラム (予定)：

開催日時		実施内容
19 日	13:00～ 17:30	現地見学会 太田川河口(干潟再生実験箇所ほか)【案内人 日比野忠史(広島大学大学院工学研究科 准教授)】 瀬野川河口(カキ殻を利用した底質浄化試験箇所) 【案内人 山本民次(広島大学大学院生物圏科学研究科 教授)】
	18:00～	交流会 (ホテルセンチュリー 2 1 広島 TEL (082)263-3111 JR 広島駅 駅前大橋近く)
20 日	10:00～ 15:30	シンポジウム 発表タイトルは変更する場合があります 趣旨説明【関根雅彦(山口大学大学院理工学研究科 教授)】 基調講演【辻本哲郎(名古屋大学大学院工学研究科 教授)】 講演：デルタ域における底質浄化【山本民次(広島大学大学院生物圏科学研究科 教授)】 講演：デルタ域における物質輸送特性【日比野忠史(広島大学大学院工学研究科 准教授)】 講演：アユの再生産におけるデルタ域の役割 【工藤孝也(広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター 副主任研究員)】 総合討論 (パネルディスカッション) 辻本哲郎(名古屋大学大学院工学研究科 教授) 山本民次(広島大学大学院生物圏科学研究科 教授) 日比野忠史(広島大学大学院工学研究科 准教授) 工藤孝也(広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター 副主任研究員) 清野聡子(九州大学大学院工学研究院環境都市部門 准教授)

シンポジウム開催場所：広島市南区民文化センター スタジオ 〒732-0816 広島市南区比治山本町 16-27 TEL(082)227-6816
 (路面電車(5番)比治山下経由広島港(宇品)行 バス(23番)大学病院行「比治山橋」または「皆実町一丁目」下車)

主催： 応用生態工学会 共催： 広島大学流域圏環境再生プロジェクト研究センター

募集人数： 現地見学会 / 40 名(先着順) シンポジウム / 150 名程度

参加料：	現地見学会	交流会	シンポジウム
	2,000 円	5,000 円	500 円

当日、受付でいただきます。参加料はシンポジウム運営費用の一部として活用します。

申し込み方法： 5 月 9 日(月)までに、電子メールかFAX(裏面)で申し込んでください。

参加申込・問合せ先： 応用生態工学会広島 〒734-8510 広島市南区出汐 2 丁目 3-30
 中電技術工科大学(株)環境部内(若尾、峰松)
 Tel.082-256-3356 Fax.082-256-3394 E-mail wakao@cecnet.co.jp

本シンポジウムは(社)建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラムです。

デルタ域の自然再生における流域的課題～太田川 - 広島湾流域圏～

申込みフォーム (FAX 用)

応用生態工学会広島 若尾 行

(中電技術コンサルタント株式会社 環境部 内)

FAX 番号 : 082-256-3394

氏 名		
所属・役職		
連絡先	〒 電話番号 : Email :	
参加される行事に を付けてください	現地見学会	
	交流会	
	シンポジウム	

* 電子メールでお申込みの場合は上記の必要事項をご記入の上, wakao@cecnet. co. jp までお願いします。

* お知らせ戴きました個人情報, シンポジウム関連のお知らせ以外には使いません。